

第 3 章 財 務

第3章 財 務

第1 収益的収支

1 収 益

総収益は68,919,133千円で、前年度に比べ481,458千円(0.7%)の増となった。これは、医師不足の影響等により入院・外来患者数が減少し、診療収益が減少したものの、救命救急などの政策経費に係る一般会計繰入金が前年度比8.1%の増加となったことなどによるものである。

2 費 用

総費用は71,609,463千円で、前年度に比べ456,804千円(0.6%)の増となった。これは、医業費用を前年度並みに抑制したが、旧瀬波病院の資産除却処理に係る特別損失があったことなどによるものである。

3 純損益

費用が収益を上回り、当年度の純損失は2,690,330千円となり、前年度の純損失2,714,984千円に比べ24,654千円改善した。

4 要素別費用(看護専門学校及び局本庁の収益費用を除く。)

収益(100円)当たりの要素別費用は、附表44のとおり100円の収益を実現するのに123.5円の原価を要したことになる。

また、患者1人1日当たりの要素別費用は、附表45のとおり、25,402円と前年度に比べ1,780円増加している。

要素別費用

附表44 収益(100円)当たり要素別費用

(単位:円)

年度	区分	給 与 費	医 療 消 耗 材 備 品 費	医 療 材 料 費	給 食 消 耗 材 備 品 費	給 食 料 費	研 究 研 修 費	経 費	資 産 減 価 償 却 費	医 業 外 費 用	特 別 損 失	計
15		61.4	30.3	1.2	12.1	6.8	4.6	0.0	116.4			
16		63.7	28.5	1.2	12.5	6.2	4.4	0.1	116.6			
17		62.9	28.6	1.2	12.7	6.0	4.1	0.0	115.5			
18		67.2	27.0	1.2	14.4	6.4	4.4	0.0	120.6			
19		65.3	26.7	1.2	14.4	9.2	5.1	0.0	121.9			
20		65.9	26.8	1.1	14.8	9.1	4.6	1.2	123.5			

(注) 看護専門学校及び病院局本庁分を除く。

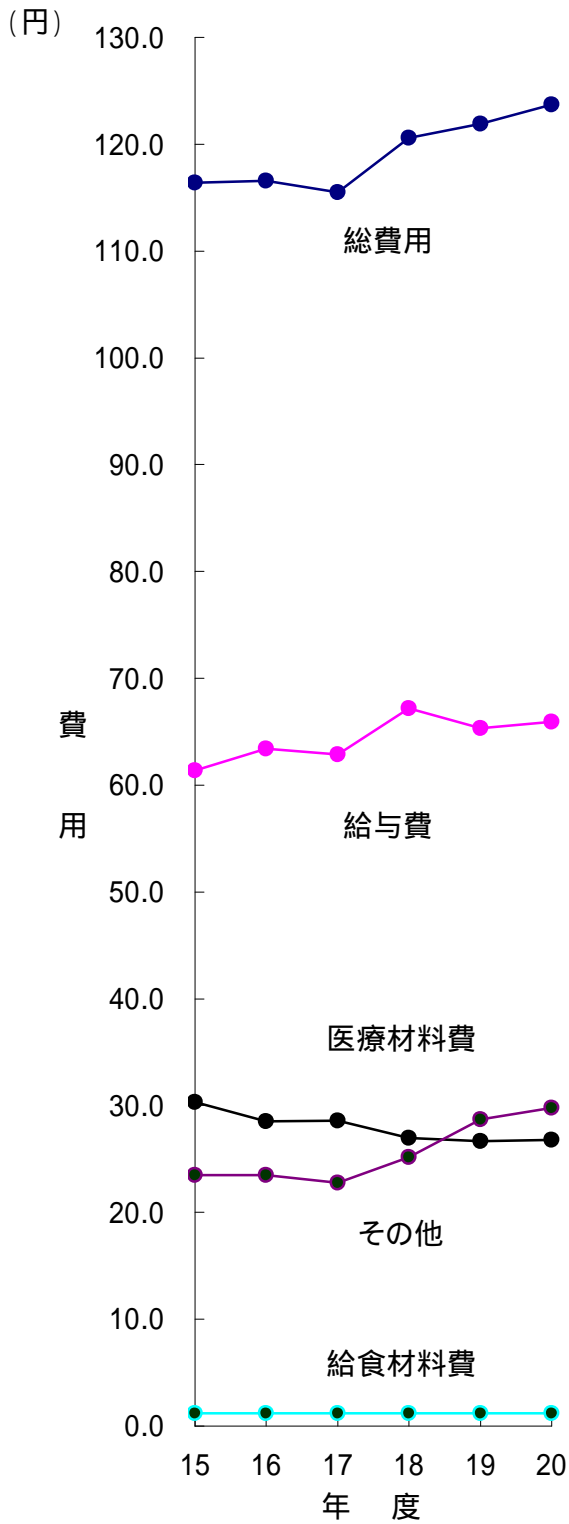
附表45 患者1人1日当たり要素別費用

(単位:円:%)

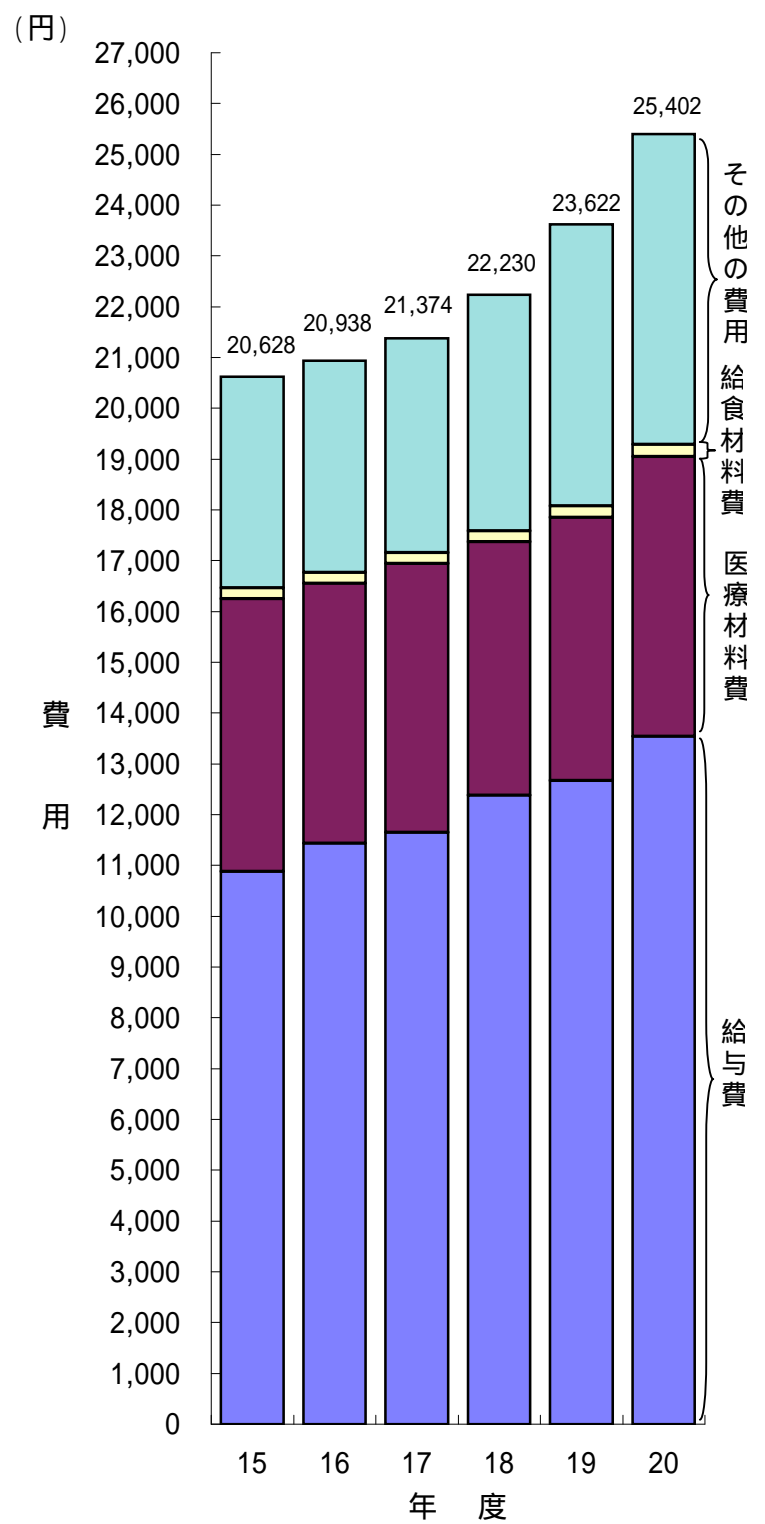
年度	区分	給 与 費	医 療 消 耗 材 備 品 費	医 療 材 料 費	給 食 消 耗 材 備 品 費	給 食 料 費	研 究 研 修 費	経 費	資 産 減 価 償 却 費	医 業 外 費 用	特 別 損 失	計	前 増 年 減 対 比 率
15		10,877	5,373	210	2,149	1,205	814	0	20,628	1.1			
16		11,430	5,115	217	2,247	1,111	795	23	20,938	1.5			
17		11,650	5,289	217	2,342	1,110	766	0	21,374	2.1			
18		12,384	4,987	219	2,649	1,184	807	0	22,230	4.0			
19		12,665	5,185	225	2,784	1,779	984	0	23,622	6.3			
20		13,340	5,424	233	3,008	1,840	926	250	25,021	5.9			

(注) 看護専門学校及び病院局本庁分を除く。

図表10 収益(100円)当たり要素別費用



図表11 患者1人1日当たり要素別費用



第2 資本的収支

資本的収入は、前年度に比べ総額4,219,967千円(59.7%)の減となった。
 主なものは、建設改良費の減少に伴う他会計借入金や企業債等の減である。
 資本的支出は、前年度に比べ総額1,949,331千円(21.0%)の減となった。
 主なものは、建設改良費の減少である。

附表46 資本的収支年度別比較

(単位：千円・%)

科 目	16		17		18		19		20	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
資本的収入	固定資産売却代	-	214	-	123	57.5	1,380	1,122.0	178,223	12,914.7
	投資回収金	640	95.2	777	121.4	3,778	486.2	2,642	2,274	86.1
	企業債	3,798,000	138.7	10,569,158	278.3	13,268,000	125.5	4,133,400	1,397,000	33.8
	出資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他会計借入金	0.0	-	-	-	-	-	1,000,000	-	0.0
	寄付金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	補助金	18,329	82.6	437,263	2,385.6	269,548	61.6	171,024	44,463	26.0
	負担金交付金	1,879,298	120.9	2,734,098	145.5	2,522,488	92.3	1,757,618	1,203,189	68.5
	その他資本的収入	131,975	459.2	393,436	298.1	267,761	68.1	249	21,197	8,512.9
計(A)	5,828,242	116.3	14,134,946	242.5	16,331,698	115.5	7,066,313	2,846,346	40.3	
資本的支出	建設改良費	4,618,127	145.9	13,046,556	282.5	15,091,288	115.7	2,729,694	1,588,010	58.2
	無形固定資産費	7,383	231.5	2,995	40.6	66	2.2	3,576	3,575	100.0
	投資	1,393	181.1	4,230	303.7	3,091	73.1	3,612	927	25.7
	償還金	4,045,438	77.3	3,552,363	87.8	3,561,485	100.3	6,554,028	5,749,067	87.7
	(うち企業債償還金)	3,366,593	96.5	3,540,861	105.2	3,555,691	100.4	6,554,028	5,749,067	87.7
	その他資本的支出	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計(B)	8,672,341	103.2	16,606,144	191.5	18,655,930	112.3	9,290,910	7,341,579	79.0	
翌年度繰越財源(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
差引過不足()額 (A)-(B)-(C)	2,844,099	-	2,471,198	-	2,324,232	-	2,224,597	-	4,495,233	
補てん財源	前年度からの繰越財源充当額	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般会計繰入金(特別利益)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	損益勘定留保資金他	2,844,099	-	2,471,198	-	2,324,232	-	2,224,597	4,495,233	
	計	2,844,099	-	2,471,198	-	2,324,232	-	2,224,597	4,495,233	

2 資本的収入繰入金

資本的支出に充てるため、一般会計から繰入れを受けた額は、総額1,245,760千円で、前年度に比べ、526,326千円(29.7%)の減となった。

なお、一般会計から建設改良資金(無利子)の借入れは行わなかった。

附表49 一般会計繰入金(資本的収入)一覧表

(単位：千円)

一般会計 支出区分	項 目	15	16	17	18	19	20
病 院 事 業	施設整備費	142,390	515,884	1,480,848	1,101,821	68,627	33,623
	起債元金	1,405,125	1,356,414	1,253,250	1,420,667	1,688,991	1,169,566
	小 計	1,547,515	1,872,298	2,734,098	2,522,488	1,757,618	1,203,189
助 成 費	がん研究費	7,000	7,000				
	原子力発電施設等緊急 時安全対策交付金			5,547			
	看護師養成費	3,175	563	444	7,418	228	16,197
合 計		1,557,690	1,879,861	2,740,089	2,529,906	1,757,846	1,219,386
救急医療 対 策 費	災害派遣医療チーム 体制整備費補助金		3,738				1,060
	NBC・F対策受入体制 設備整備費補助金					14,240	
防 疫 対 策 費	重症急性呼吸器 症候群対策補助金	8,311					
	新型インフルエンザ 対策推進補助金						25,314
繰入金総計		1,566,001	1,883,599	2,740,089	2,529,906	1,772,086	1,245,760
病院事業 貸付金	建設改良等 借入金	667,457					
総 合 計		2,233,458	1,883,599	2,740,089	2,529,906	1,772,086	1,245,760

第3 資産・負債および資本

平成20年度末における資産総額は86,630,989千円となり、前年度に比較して5,247,258千円(5.7%)減少した。減少の主なものは固定資産4,673,640千円(5.9%)である。

負債は、総額9,443,687千円となり、前年度に比較して620,065千円(7.0%)増加した。増加は固定負債919,944千円(166.1%)である。

資本は、総額77,187,302千円となり、前年度に比較して5,867,323千円(7.1%)減少した。減少の主なものは資本金4,347,211千円(4.3%)である。

また、最近5年間の資金運用状況は附表47のとおりである。

附表47 資金運用表

		(単位:円)				
年度		16	17	18	19	20
区分	源					
	長					
期	泉					
	資					
金	使					
	途					
純運転資本の源泉増額						
A - B		944,849,080	2,723,266	1,377,351,910	560,974,788	129,932,698
短	源					
	期					
資	泉					
	使					
金	途					
	途					
純運転資本の使途増減						
D - C		944,849,080	2,723,266	1,377,351,910	560,974,788	129,932,698

第4 一般会計繰入金

1 収益的収入繰入金

収益的支出に充てるため、一般会計から繰入を受けた額は、附表48のとおり総額 11,376,844千円で、前年度に比べ 869,059千円(前年度比8.3%)の増となった。これは、特殊病院、高度医療不採算、がん高度医療不採算等の増加が主な理由である。

附表48 一般会計繰入金(収益的収入)一覧表

(単位:千円)

一般会計 支出区分	項 目	16	17	18	19	20
病院事業 運営 事業費	救急医療	674,482	691,658	960,151	1,180,444	1,228,562
	集団検診	110,227	148,802	138,722	115,742	115,234
	不採算地区病院	793,727	773,325	846,833	936,141	955,241
	特殊病院	1,492,771	1,488,606	1,715,192	1,624,505	2,236,331
	がん高度医療不採算	374,752	396,579	487,882	500,754	559,531
	高度医療不採算	157,338	132,997	141,585	329,751	451,736
	起債利息	1,606,729	1,515,034	1,628,130	1,772,142	1,599,271
	その他	3,389,588	3,387,299	3,412,313	3,874,548	4,026,198
	がん研究費	51,075	16,200	14,578	14,578	14,578
	小 計	8,650,689	8,550,500	9,345,386	10,348,605	11,186,682
	看護師養成費	194,456	191,654	135,090	146,585	176,319
合 計		8,845,145	8,742,154	9,480,476	10,495,190	11,363,001
防疫 対策費	感染症予防費	16,460	16,098	14,832	12,595	13,843
繰入金総計		8,861,605	8,758,252	9,495,308	10,507,785	11,376,844
病院事業 貸付金	運転資金借入金	4,000,000	5,000,000	5,000,000	0	0
総 合 計		12,861,605	13,758,252	14,495,308	10,507,785	11,376,844

第5 企業債借入及び償還状況

1 企業債借入状況

建設改良費等の財源に充てるため、総額2,401,800千円の借入れを行ったが、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円)

区分	事業名	借入先	借入金額
前 繰 年 越 度 分	小出病院整備事業	財 務 省	13,000
	医療器械等整備事業	第 四 銀 行	134,000
	小 計		147,000
当 年 度 分	19年発生災害復旧事業	財 務 省	4,800
	柿崎病院整備事業	"	9,000
	坂町病院整備事業	"	40,000
	津川病院整備事業	地方公営企業等金融機構	17,000
	中央病院整備事業	"	4,000
	松代病院福祉のまちづくり事業	"	2,000
	六日町病院整備事業	第 四 銀 行	117
	"	北 越 銀 行	639
	"	大 光 銀 行	244
	加茂病院整備事業	第 四 銀 行	44,000
	小出病院整備事業	"	471
	"	北 越 銀 行	2,555
	"	大 光 銀 行	974
	吉田病院整備事業	第 四 銀 行	1,059
	"	北 越 銀 行	5,749
	"	大 光 銀 行	2,192
	がんセンター新潟病院整備事業	第 四 銀 行	8,353
	"	北 越 銀 行	45,357
	"	大 光 銀 行	17,290
	医療器械等整備事業	第 四 銀 行	440,600
	"	北 越 銀 行	440,500
"	大 光 銀 行	167,900	
公営企業退職手当債	第 四 銀 行	420,000	
"	北 越 銀 行	420,000	
"	大 光 銀 行	160,000	
小 計		2,254,800	
合 計		2,401,800	

附表50 企業債借入の年度別推移

(単位：千円)

用途	借入先	16	17	18	19	20
建設改良 事業	財 務 省	2,337,000	4,736,000	4,439,000	310,000	66,800
	地方公営企業等金融機構	1,461,000	2,942,000	2,828,000	188,000	23,000
	第 四 銀 行		1,303,000	2,520,000	1,682,200	628,600
	北 越 銀 行		1,303,000	2,520,000	1,653,200	494,800
	大 光 銀 行		325,000	961,000	300,000	188,600
	小 計	3,798,000	10,609,000	13,268,000	4,133,400	1,401,800
	公営企業 退職手当 債	第 四 銀 行				
	北 越 銀 行					420,000
	大 光 銀 行					160,000
	小 計	0	0	0	0	1,000,000
合 計		3,798,000	10,609,000	13,268,000	4,133,400	2,401,800

附表51 建設改良費の企業債依存度

(単位：千円)

区 分	16	17	18	19	20
建設改良費 A	4,618,128	13,046,556	15,091,288	2,729,694	1,588,010
企業債 B	3,798,000	10,609,000	13,268,000	4,133,400	1,401,800
B / A x 100 (%)	82.2	81.3	87.9	151.4	88.3

2 企業債償還状況

借入企業債の償還及び未償還の状況は、附表52のとおりである。

附表52 企業債償還及び未償還残高の年度別推移

(単位：千円)

用 途	借入先	16		17		18		19		20	
		償還高	未償還高	償還高	未償還高	償還高	未償還高	償還高	未償還高	償還高	未償還高
建設改良 事業債	財務省	2,310,463	54,278,390	2,521,786	56,492,603	2,632,868	58,298,735	4,470,274	54,138,461	2,396,192	51,809,070
	金融機構	227,550	3,488,393	382,365	6,048,028	677,377	8,198,651	621,411	7,765,240	542,377	7,245,863
	管理機構(簡)	102,749	154,895	103,161	51,735	51,735					
	管理機構(郵)	49,750	750,998	217,937	533,061	193,710	339,351	169,337	170,014	170,014	
	第四銀行	338,295	157,934	157,934	1,303,000		3,823,000	560,683	4,944,517	1,120,548	4,452,569
	北越銀行	337,786	157,678	157,678	1,303,000		3,823,000	560,683	4,915,517	1,202,580	4,207,736
	大光銀行				325,000		1,286,000	171,640	1,414,360	317,356	1,285,604
	小 計	3,366,593	58,988,288	3,540,861	66,056,427	3,555,690	75,768,737	6,554,028	73,348,109	5,749,067	69,000,842
公営企業 退職手当 債	第四銀行										420,000
	北越銀行										420,000
	大光銀行										160,000
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000,000
合 計	3,366,593	58,988,288	3,540,861	66,056,427	3,555,690	75,768,737	6,554,028	73,348,109	5,749,067	70,000,842	

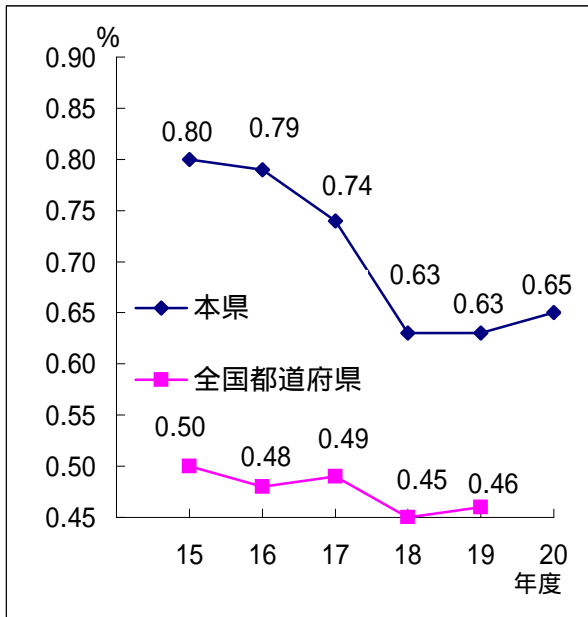
第6 主要財務比率

6年間の主要財務比率は附表53のとおりである。このうち主な比率についてみると、総資本回転率(図表A)は前年度に比べ0.02ポイント改善した。

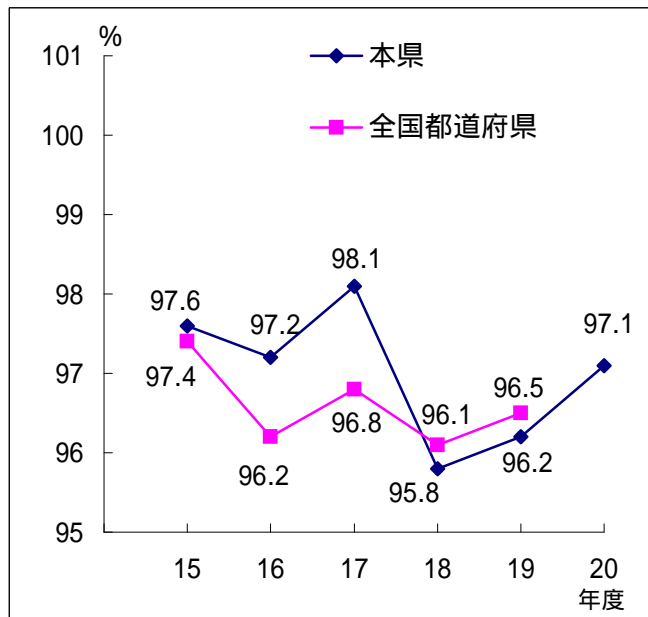
収益、費用の関連比率では、経常収益対経常費用比率(図表B)は0.9ポイント上昇し、医業収益対医業費用比率(図表C)は0.5ポイント下降した。

企業の支払い能力を示す流動比率(図表D)は前年度に比べ0.8ポイント下降した。また、現金比率は5.7ポイント下降した。

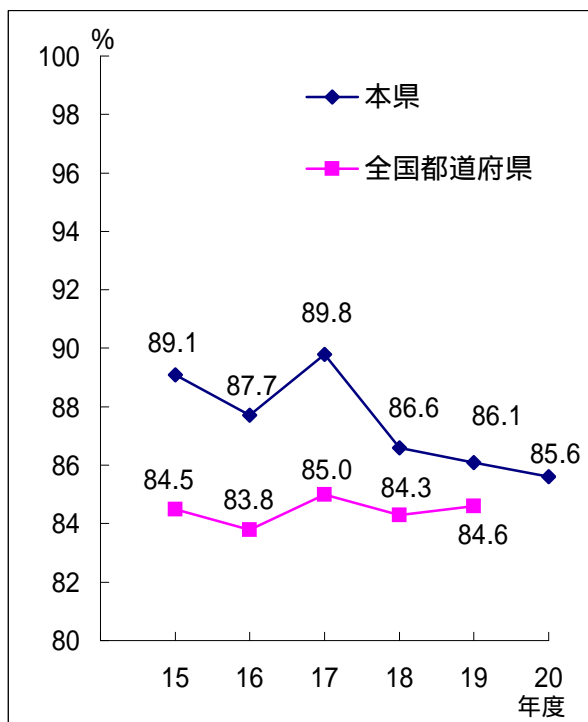
(図表A) 総資本回転率の推移



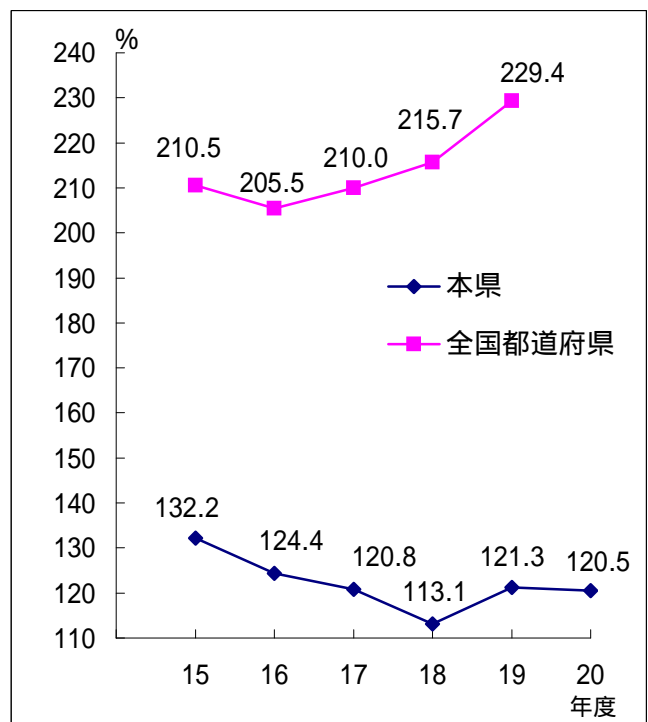
(図表B) 経常収益対経常費用比率の推移



(図表C) 医業収益対医業費用比率の推移



(図表D) 流動比率の推移



附表53 主要財務比率表

区 分	算 式	15	16	17	18	19	20
総資本回転率	$\frac{\text{医業収益}}{1/2(\text{期首・期末総資本})}$	0.80	0.79	0.74	0.63	0.63	0.65
固定資産回転率	$\frac{\text{医業収益}}{1/2(\text{期首・期末固定資産})}$	1.00	0.98	0.92	0.76	0.73	0.76
流動資産回転率	$\frac{\text{医業収益}}{1/2(\text{期首・期末流動資産})}$	4.44	4.43	4.39	4.58	5.74	5.93
貯蔵品回転率	$\frac{\text{貯蔵品払出額}}{1/2(\text{期首・期末貯蔵品})}$	97.9	101.4	116.1	109.1	107.1	112.3
未収金回転率	$\frac{\text{医業収益}}{1/2(\text{期首・期末未収金})}$	6.3	6.1	6.1	5.9	6.3	6.3
経常収益対 経常費用比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100(\%)$	97.6	97.2	98.1	95.8	96.2	97.1
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100(\%)$	89.1	87.7	89.8	86.6	86.1	85.6
企業債償還額対 減価償却費比率	$\frac{\text{企業債償還額}}{\text{減価償却費}} \times 100(\%)$	83.3	90.6	99.1	99.7	125.5	112.0
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100(\%)$	92.0	93.3	93.5	95.3	94.6	94.6
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	132.2	124.4	120.8	113.1	121.3	120.5
当座比率	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	129.7	121.5	118.3	109.7	118.3	118.0
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	38.1	26.7	36.4	6.1	6.8	1.1

(注) 本表は、地方公営企業年鑑(総務省編集)数値を用いた。従って、医業収益には地方公営企業法第17条の2第1項第1号の他会計負担金(救急医療、集団検診等の経費)が含まれている。